北海道
東川町
－写真の町－
写真文化首都

ひがしかわ 議会だより

写真の町東川賞授賞式テープカット

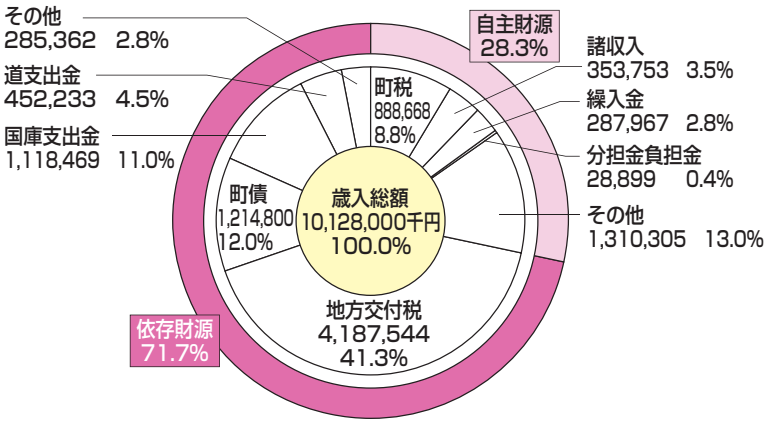
令和３年度予算……２～３
第１回定例会・第１～３回臨時会を開催……４～７
ここが聞きたい！一般質問に４議員が登壇……８～11
議会改革等特別委員会報告……12
委員会報告・意見書……13
議案審議結果……14～15
議会日誌……16

No.189
令和３年５月１日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

令和３年度　予算特集

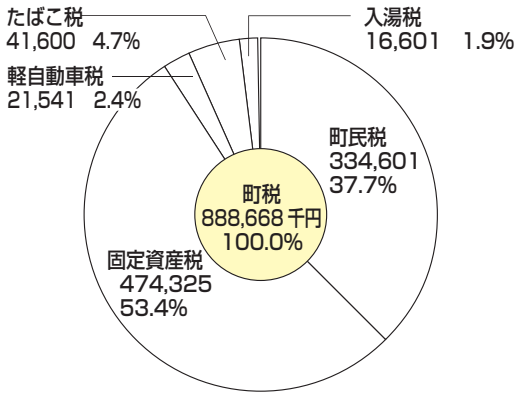
自主財源と依存財源

単位：千円



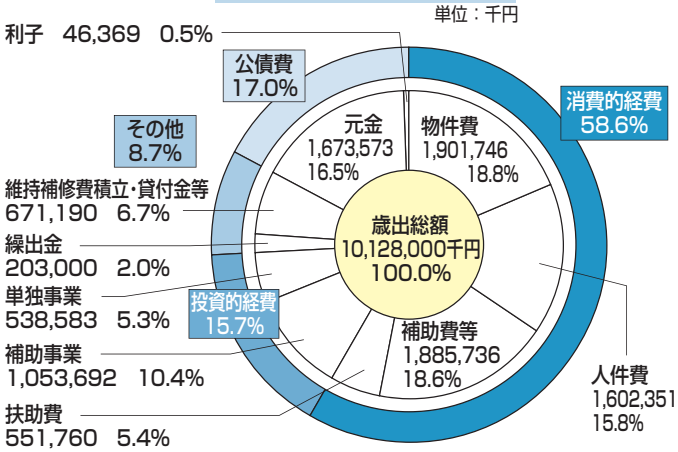
町税の内訳

単位：千円



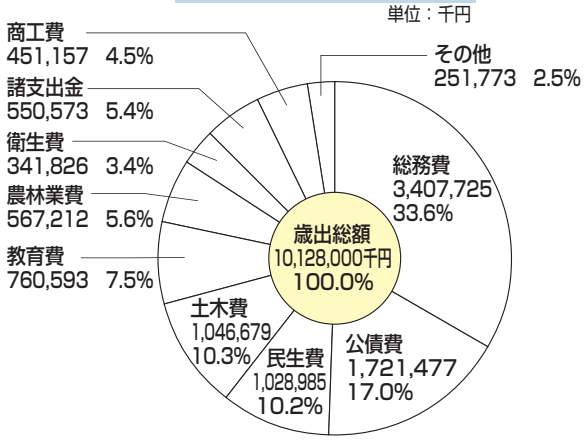
性質別歳出の内訳

単位：千円



目的別歳出の内訳

単位：千円



令和３年度　各会計予算総括表

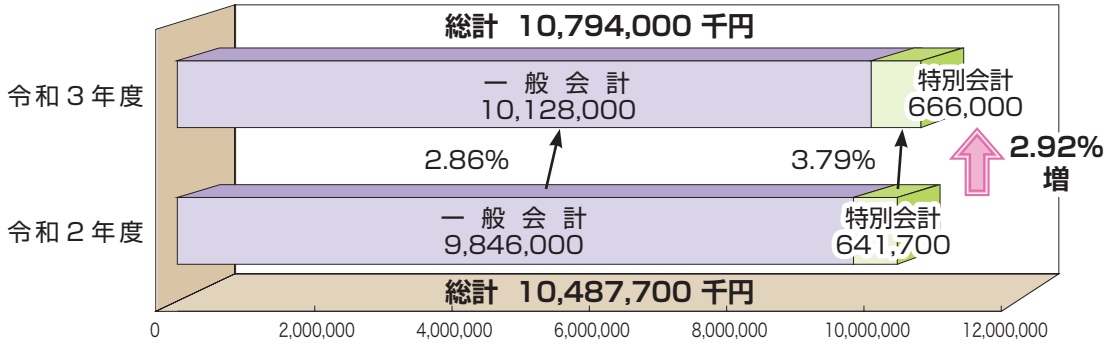
（単位：千円）

区分		令和３年度当初予算額 A	令和２年度当初予算額 B	比較 増減額 (A-B)=C	比較 増減比率 (C／B)＝D
一般会計		10,128,000	9,846,000	282,000	2.86%
特別会計	公共下水道事業	237,000	205,900	31,100	15.10%
	国保町立診療所	429,000	435,800	▲6,800	▲1.56%
	特別会計合計	666,000	641,700	24,300	3.79%
総合計		10,794,000	10,487,700	306,300	2.92%

※特別会計は当初予算との比較

一部事務組合、広域連合への負担金額（一般会計内数）当初予算比（単位：千円）

区分	令和３年度	令和２年度	増減額	増減比率
大雪地区広域連合	410,402	409,913	489	0.12%
大雪葬斎組合	9,665	19,399	▲9,734	▲50.18%
大雪清掃組合	92,271	84,349	7,922	9.39%
大雪消防組合	191,641	183,527	8,114	4.42%



令和3年度予算

令和3年度一般会計・2特別会計予算案について、総務文教・産業建設常任委員会に分かれて、3月9～11日議案審査を行いました。

一般会計

総額101億2800万円で、前年度当初予算対比2・86％の増、2特別会計を合わせた総額は、107億9400万円で、前年比3億630万円、2・92％の増です。

歳入

①町税

（8億8867万円）

個人町民税はコロナ禍の影響で1140万円の減、法人は1310万円の減、固定資産税は新築棟数の減少で、834万円の減です。

②地方交付税

（41億8754万円）

普通交付税は、人口増など1億4754万円増の31億1754万円です。

特別交付税は、地域おこし協力隊、地域活性化企業人の増など、7572万円増の10億7000万円です。

③寄附金

（9億1001万円）

株主事業寄附金、7億円、企業版ふるさと納税、2億1000万円で計上、全体で2億5000万円の増です。

④町債

（12億1480万円）

土木債で公営住宅の建設、道路事業など、教育債で第二小学校の長寿命化実施計画、辺地対策事業など、全体で1億3784万円の減です。

歳出

①いきいき農園整備事業

（9385万円）

駐車場・管理棟・外構整備です。

②キトウシ保養施設整備事業（1億4774万円）

レストハウスの解体、敷地造成工事を行います。

③キトウシ家族旅行村施設整備事業

（1億3688万円）

ケビン新築3棟分です。

④キャンモアスキー場リフト大規模改修事業

（7500万円）

設置から30年経過していることから、安全管理のため部品交換します。

⑤萬二橋長寿命化事業

（2億4360万円）

西2号（倉沼川）に架かる橋の改良工事です。

⑥公園団地1・2号棟整備事業（1億308万円）

公営住宅公園団地の建設工事です。

⑦公債費

（17億2148万円）

昨年と比較して790万円増えていますが、元利償還を予定しています。

公共下水道特別会計

総額2億370万円で、3110万円の増です。

西部処理区費の下水道管路カメラ点検委託料などです。

町立診療所特別会計

総額4億2900万円で、680万円の減です。

入院患者数は一日平均で8・0人、外来では63・0人を見込んでいます。

総括

経常一般財源36億5820万円、予算の段階で、経常収支比率は78・4％で、前年度より0・5ポイント改善しています。

積立基金は、一般会計26億1276万円。

土地開発基金、備荒基金を含めた総額は28億4732万円の見込みです。

松岡町長より

諸般の報告

長原副町長は、昭和47年に役場採用となり、今日まで49年間その内14年間は町長と副町長という立場のパートナー関係で尽力をしてきました。

役場奉職時から、人口と予算の拡大と確保が住民福祉の原点という強い信念を持ち、今日まで初志貫徹されたと思います。

ここに辞職願いの受理を報告します。

第１回 定例会を開催

●第１回定例会を、令和３年３月８日から15日までの８日間、開催しました。
●４名の議員が、一般質問をしました。
●令和３年度一般会計・２特別会計の予算案、各種条例案・報告など、および令和２年度一般会計・２特別会計の補正予算案、議案18件・議員提出案８件について審議し原案可決または、同意・報告済としました。
●東川町に貢献された方々を表彰しました。

第１回定例会

令和２年度一般会計補正第10号

歳入、歳出をそれぞれ２３７０万円増額し総額は１１６億２６４２万円で、主なものは次の通りです。

①職員給与費
（▲１４００万円）
執行残の減額です。

②写真の町国際化推進事業
（▲３００万円）
地域づくり交付金採択による減額です。

③国際観光プロモーション事業（▲３７０万円）

④子ども発達支援センター事業負担金
（▲５７３万円）

⑤幼児センター管理事業
（▲３０８３万円）

③④⑤は事業費の確定による減額です。

⑥日本語学校運営事業費
（▲１０５０万円）
短期日本語学校の授業数の減少などによる減額です。

⑦定住促進対策事業費
（▲３５０万円）
コロナ禍によるイベントの中止により減額です。

⑧児童手当支給事業
（▲３００万円）
支給児童数の減による減額です。

⑨予防接種事業
（▲８００万円）
インフルエンザおよび肺炎球菌ワクチンの予防接種を、コロナウイルス感染重症化予防対策事業として実施したことに伴う減額です。

⑩「写真の町」事業補助金
（▲５００万円）
コロナ禍で、写真甲子園の本選大会がリモートで開催されるなど、事業の変更や中止などに伴う減額です。

⑪外国青年招致事業
（▲６２０万円）
コロナ禍で後任や新任のＪＥＴ職員が着任できなかったことに伴う減額です。

⑫小学校維持管理事業
（▲４５８万円）
コロナ禍による休校で光熱費を減額するほか、学校ＩＣＴ機器の指導の事業費確定により減額します。

⑬積立金
（１億９０４７万円）
財源整理の結果、余剰となる財源を積立てます。

Q（安原芳博議員）
母子福祉費扶助費支給減の理由は。

A（保健福祉課長）
子ども医療、ひとり親医療、養育医療それぞれが、コロナ禍の受診控えで減額になっています。

下水道特別会計補正第３号

歳入、歳出をそれぞれ１１７８万円増額し、総額は２億２６１３万円です。

西部処理区での事業追加による増額と、旭岳処理区の事業費確定に伴う減額です。

診療所特別会計補正第４号

歳入、歳出をそれぞれ９００万円減額し、総額は４億３３７３万円です。

コロナ禍で外来患者、入院患者減により医療材料費や寝具費、給食費の減による減額です。

条例の新規制定と一部改正

主なものは次の通りです。

①東川町基金条例の一部を改正する条例の制定
従来の「小西健二奨学金基金」に、新たに「技術者を育成するものづくり技術者育成奨学金」を加え「未来を育む奨学基金」に名称を改めます。

②東川町の税条例の一部を改正する条例の制定
集合税方式から単税方式へ移行するため固定資産税の納期を変更します。

③町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定
立候補の環境を改善し、多様な人材の議会参加を促進することを目的として、供託金制度を導入する一方、選挙運動費用の一部を公費負担する仕組みを条例で定めます。

④東川町道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定

Q（正満正義議員）
歩行者利便増進道路は町に該当箇所がありますか。

A（都市建設課長）
町道のみならず道道も幅員4・5mのうち2・5mを常時占有し賑わい創出のための施設に使用することができるようになります。

Q（杉本岳大議員）
自分の店の前に他者が占有することになりかねませんか。

A（都市建設課長）
公募で選考する際に、十分な協議を行います。

財産の取得

ヨーロッパ家具デザインアーカイブス構築用備品（織田コレクション）の最終年

数量　椅子173点
　　テーブル2点
金額　5000万円
契約相手　織田　憲嗣

副町長の選任

長原副町長の退任にあたり、平田章洋都市建設課長の選任と、市川直樹副町長の再任に同意しました。

市川　直樹　氏

平田　章洋　氏

被表彰者の推薦

善行表彰

中島　拓　氏
佐藤　茂　氏
株式会社アクトギア
株式会社フジキカイ
大栄不動産株式会社

自治功労表彰

長原　淳　氏

一般功労表彰

山下　一雄　氏
江添　好松　氏
東川町文化連盟協議会
北海道東川ラトビア交流協会
東川町韓国交流協会

職員表彰

千田　浩一朗氏
野澤　秀夫　氏
中村　弘美　氏
林　直美　氏

常任委員会委員の選任

総務文教常任委員会

委員長　藤倉智恵子
副委員長　飯塚　達央
委員　山家　祥幸
委員　薦田　敏次
委員　正満　正義
委員　鶴間　松彦

産業建設常任委員会

委員長　畑中　雅晴
副委員長　鈴木　哉美
委員　杉本　岳大
委員　能登　暢吉
委員　安原　芳博

議会運営委員会

委員長　正満　正義
副委員長　能登　暢吉
委員　畑中　雅晴
委員　藤倉智恵子
委員　鶴間　松彦

議会報編集特別委員会

委員長　能登　暢吉
副委員長　鈴木　哉美
委員　杉本　岳大
委員　山家　祥幸
委員　飯塚　達央
委員　畑中　雅晴

大雪広域連合・一部事務組合議会議員

高橋　昭典
鶴間　松彦
藤倉智恵子

第1回臨時会

（2月12日）

令和2年度一般会計補正第9号

歳入、歳出をそれぞれ2341万円増額し総額は116億272万円で、主なものは次の通りです。

①新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業（2110万円）

宿泊施設と町内消費に繋げる「ひがしかわ町民緊急冬得キャンペーン事業」を実施する。

②新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（231万円）

接種券の発送、接種予防の整備を実施する。

Q（鈴木哉美議員）

2回目の接種の準備費用も含みますか。

A（保健福祉課長）

ワクチンの解凍に用いる冷蔵庫と、2回目の接種券の印刷費も含んでいます。

Q（鶴間松彦議員）

国の第3次補正予算の配分が、町に1億500万円で決まったようですが、これまでのコロナ経済対策で崩した財政調整基金へ戻しますか。

A（企画総務課長）

国から町に対しての交付金総額が4億1484万円になりました。

これまでコロナ対策事業費に2億9千万円を町の財源から持ち出しており、3月の補正予算で整理を行っていきます。

Q（山家祥幸議員）

外国人留学生もワクチン接種対象なのか。

A（保健福祉課長）

住民票の所在地で接種するので一般町民と同様です。

第2回臨時会

（3月26日）

令和2年度一般会計補正第11号

歳入、歳出をそれぞれ9億6870万円増額し総額は125億9512万円で、主なものは次の通りです。

①「KAGUの家」ヴィレッジ整備事業費（4億4427万円）

隈研吾事務所設計による4棟のサテライトオフィス建設と、歩きたくなる町づくりの整備費用で、国の交付金のほか地方債と町の基金を財源にします。

Q（飯塚達央議員）

交付金以外に町の財源から株主基金4500万円崩すと、残高はいくらになるのかと、工期を教えてください。

A（東川スタイル課長）

株主基金残高は3億7000万円になり設計を6月に終え、7月には着工する予定です。

Q（鈴木哉美議員）

4棟の使い分けは。

A（東川スタイル課長）

1棟は隈研吾事務所、2棟は公募により企業に賃貸し、1棟は町民もテレワークとして使える交流施設にと考えています。

②新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（3346万円）

保健師、看護師の人件費や受付業務、ワクチン保管庫などの体制確保の事業費で国費で行います。

③西10号道路改良事業（6900万円）

④除排雪事業（366万円）

3月2日の暴風雪の除排雪費用です。

⑤第三小学校校舎等長寿命化改良工事事業（2億6653万円）

Q（鶴間松彦議員）

工事の内容は。

A（学校教育課長）

構造体の劣化対策、給水や電気設備、エアコン設置の工事を5月に始め1月に終える予定です。

①②③⑤は、新年度に繰越す事業として繰越明許費に計上します。

⑥財政調整基金積立金（5632万円）

⑦公共施設整備基金事業積立金（3218万円）

⑧国営緊急農地再編整備事業基金事業積立金（4000万円）

⑥⑦⑧は、国からの交付税が確定したことに伴い、余剰財源を各基金に積み立てするものです。

第3回臨時会

（4月9日）

令和2年度一般会計補正第12号

歳入、歳出それぞれ1400万円増額し総額は126億912万円です。

地方創生応援税制寄附金（企業版ふるさと納税）を基金に積み立てます。（1400万円）

令和3年度一般会計補正第1号

歳入、歳出をそれぞれ4億1953万円増額し総額は105億4753万円で、主なものは次の通りです。

①観光立国交流事業（9000万円）

町の魅力を伝える書籍2冊と映像作品を海外で出版します。

Q（畑中雅晴議員）

コロナ禍の最中に海外観光客誘致事業を行う意味と財源は。

A（市川副町長）

ポストコロナに向けて町の魅力を発信します。

財源は株主基金と一般財源を半分ずつ充てますが、のちの交付税措置を見込んでいます。

②大雪圏域観光振興プロジェクト事業（2628万円）

大雪カムイミンタラDMOを核としたwithコロナ時代のマウンテンリゾートの推進など。

③「適疎ワーキング」関係人口創出・拡大事業（1億4000万円）

「KAGUの家ヴィレッジ」連携事業や公共施設のフリーアドレス環境整備などで、都市の過密を避け適疎な町内で働き暮らす人を創出する事業です。

④地方創生テレワーク交付金事業（1億27万円）

旧カフェZEN・岩島邸・東町会館の3棟の屋内外をテレワークオフィスに改修する事業です。

Q（飯塚達央議員）

適疎ワーキングやテレワークの拠点整備を行うことで得られる町のメリットは。

A（町長）

町の魅力を増やし、滞在する関係人口を増やすことで地域経済を守るという観点で実施します。

Q（山家祥幸議員）

テレワーク拠点にキトウシのケビンも含めては。

A（産業振興課長）

今回の補正予算にはありませんが、今後検討します。

Q（鶴間松彦議員）

地方創生推進の10の事業はすべて、町の財源負担が1／4相当ということでよいでしょうか。

A（企画総務課長）

国の有利な財源の確保と合わせ、ふるさと納税や株主基金を活用し、町の財政負担は14％で事業を展開します。

⑤新型コロナウイルス感染症対策事業費（3000万円）

介護施設や飲食店に空気清浄機や滅菌器を貸与します。

⑥新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（3298万円）

5月24日から予定している接種開始に向けた事業で国費です。

議会を傍聴しませんか

次回は6月17日～18日の予定です。

町議会では、町民の暮らしに関する重要な事柄が審議されています。

議場は、役場3階、傍聴席はコロナ対策で15席程度に限定しています。
団体の傍聴は、資料の準備もありますので、事前にお知らせください。

議会事務局
82－2111

一般質問 ここが聞きたい

（4議員が登壇）

問 診療所でのカード払いを

答 今年度検討、試行へ

薦田　敏次

（一問一答方式）

質問

旭川では多くの病院で、クレジットカードでの支払いを受け付けています。

町立診療所の支払いは、様々な方法があることが望ましいと思いますが、クレジットカードでの対応ができません。

今後の対応を伺います。

町長

現金で支払いされる方が多いと思っていますが、現在、役場庁舎内でのICT、デジタル化に向けて検討しています。

その中で、カードでの対応ができるようにと思っています。

試行しながら一年間かけて検討する中で診療所も入れながら対応します。

町立診療所

質問

薬局はクレジット払いができるので、早めにしていただければと思います。

ペイペイやHUCカードが利用できれば利便性が良くなると思いますが。

町長

HUCカードなども含めて関係者と検討します。

質問

町税などを、コンビニで支払うことが出来ればいいと思いますが。

町長

住民の皆さんの利便性に配慮して検討します。

問 新婚新生活支援事業への参加を

答 前向きに検討

質問

「地域少子化対策推進交付金、結婚新生活支援事業」は令和2年より行われていますが、今後、町として制度に参加する意思はあるのかを伺います。

町長

結婚新生活支援事業は、家賃の補助や、住宅の取得、引っ越しの費用に充てることなどがあり、個人一般型と北海道との連携型の2種類あると聞いています。

町としては住宅取得に対して100万円の補助を行っていますので、住宅取得は該当になると思います。

家賃、引っ越し費用については、特にありませんが、新婚家庭では様々な出費が伴うことでしょうから、前向きに検討していきます。

申請が2月で終わっておりますが、追加の申請が夏頃あると聞いていますので、確認でき次第、案内します。

問 福祉で働く人たちへ慰労金を
答 施設の感染予防対策に

杉本　岳大

（一問一答方式）

質問　医療・介護・障がい・保育を始めとした福祉で働く人たちへ慰労金を給付し、日頃の感謝の気持ちと昨今のコロナ影響による福祉従事者の離職の低減に寄与しませんか。

町長　役場の職員も福祉増進のために働いているので、ある意味、福祉従事者と言えます。

どこまでの範囲を福祉従事者と決めるのが極めて難しいので支援はできません。

施設の入所者は外部と接触することがないのでコロナに感染することは極めて低いと考えます。

外部からウイルスを持ち込み、施設内で感染者を出していると思うので、慰労金を出すよりも施設の感染予防対策や面会ができない入所者と家族がコミュニケーションを取れるような機器等に支援した方が良いと思います。

質問　慰労金の範囲が決められないとのことですが、議論すれば、決められるのではないですか。

町長　福祉の範囲は議論すれば決めることはできると思いますが、介護施設で働いている人たちへ給付金を出すと、家庭で介護をしている家族には出さないのかとなり、給付の範囲の区切りが付けづらいので、やはり施設の感染予防対策の支援をした方が良いと思います。

質問　飲食や観光支援なども、そうですが、どのような支援でも支援から外れる人も出てくると思います。

それを恐れて支援をしないというのは理由にならないと思います。

できる限り支援するという姿勢が大切なのでは。

町長　私は支援を天秤にかけると慰労金を給付するよりも施設のコロナ感染予防対策にお金を出した方が良いと言っており、決して恐れている訳ではありません。

質問　感染対策に優先順位を付けて行いたいという考えも理解できますが、介護等の仕事はコロナの感染リスクのストレス下で頑張っているので、町として慰労してあげたいがいかがですか。

町長　福祉に限らず、他の業種でも国民の生命と財産を守る仕事であるならば、ある意味で福祉従事者であると言えるので、その方々に対しても慰労金を出すということになりかねるのでいかがなものかと思います。

福祉従事者の方々は崇高な精神を持って仕事をしているはずなので自分たちに慰労金の給付よりも、入所者への感染対策にお金を使って欲しいと思うはずです。

質問　慰労金は出せないが福祉施設への支援を行うという考えでよろしいですか。

支援の時期を示すことはできますか。

町長　福祉で働く人が第一ではなく、そこで入所している方々の安心安全を守るというのが福祉の原点であると思います。

現金給付のような一時的な支援ではなく、恒久的な対策となる施設への支援をいつまでにはという時期は言えませんが検討したいと思います。

問 テレワーク構想は
答 計画通り進める

鶴間　松彦

（一問一答方式）

質問

世界的建築家、隈研吾氏の提案を受け、KAGUの家として、東町1丁目の空き地に4棟の建物を建て、企業を呼ぶ計画がありますが、進捗状況と今後の計画などについて伺います。

町長

費用については、概ね4億円を令和2年度の国の3次補正で予算措置をしており、国の拠点整備交付金を充当します。

決定の内示を受けているので、計画通り4棟を建設する予定で進めています。

設計段階に入っており、早急に設計を詰めます。

建設予定地に建っている古い住宅2棟を、早期に撤去し発注できるように準備を進めています。

KAGUの家

問 KAGUデザインコンペの今後は
答 観光振興に大きく寄与する

質問

世界中から1800件を超える登録があり、内6割は海外です。

隈研吾氏の事務所も海外にあり、影響もあると思います。

写真甲子園、写真のイベントも長く続けていることで世界的に知られるようになり、驚くような数字が出たと思っています。

今後どのように進めていくのか伺います。

町長

KAGUデザインコンペは、今年第1回目で、1857件のエントリーがあり持続したいと考えています。

世界と人間を繋ぐものは、全て家具だという隈研吾氏の発想がありますので、町としては、できる限り良いものについては商品化をして、農村から都市に世界に向かって発信し、家具と繋がった観光振興に大きく寄与すると思っています。

問 アイヌ文化の発信とは
答 映画を作り進めていく

質問

アイヌに関わる映画を作ると聞いていますが、アイヌの問題は非常にデリケートで、同化政策などにより生活権を奪われ、差別と偏見の歴史だったのではないかと思っています。

先住民族として認めた法律、アイヌ新法はできましたが、遺骨返還、鮭の捕獲漁業権など、問題が山積みの中、尊厳を守るべき重要な課題です。

一歩足を踏み込む映画製作について考え方を伺いします。

町長

町の観光の象徴が、大雪山旭岳だと思います。

旭岳は文化的、振興的な視点からアイヌの方々が山を崇めながら暮らし、カムイと共に生きる上川アイヌというようなことが副題となっており、日本遺産に指定を受けています。

毎年山のまつり、ヌプリコロカムイノミが行われ町の財産です。

このような文化を大切にしながらアイヌの皆さん方の映画を作って、歴史や文化を伝えると同時に、メッセージを送れるような映画にしたいという監督の思いもあり、大雪山を広く紹介し、多くの皆さんが来ていただけるよう進めていきます。

問 不登校児童生徒の支援状況は
答 関係機関と連携し柔軟に対応

鈴木　哉美

質問

不登校の児童生徒の状況について伺います。

①現在の人数は。

②支援体制はどのようになっていますか。

③ガイドラインや対応マニュアルはありますか。

④わくわくプレイス事業を不登校の児童生徒たちの居場所にできませんか。

教育長

①年間30日以上欠席している児童生徒数は23名で、病気や経済的な理由によるものを除く文科省の定義では小学生5名、中学生9名です。

②中学校にはスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを各1名配置、小学校にも巡回し、状況に応じて要保護児童対策協議会ケース会議で検討しています。

道教育委員会、東川養護学校、福祉担当部局、ここりんなど関係機関とも連携し、オンライン学習なども活用しながら支援していきます。

③現在マニュアルはありませんが、作成に強い要望があれば検討します。

④支援が必要なお子さんなどの課題はありますが、ある程度可能と考えます。

教育委員会では以前から居場所作りの工夫を実践しており、今後も柔軟に対応します。

問 わくわくプレイス事業の今後は
答 自主性を尊重し充実

質問

昨年11月から試験運用中の「わくわくプレイス」について伺います。

①自宅に保護者がいる小学生のための放課後の居場所を提供する児童館的事業ですが、地域学校協働活動の一つですか。

②将来学童保育と同じ場所で開催の場合、おやつの提供はどうなりますか。

③子どもたちの製作物の保管場所確保は。

④東小6年生の町づくり提案に多かったアスレチックを設置しませんか。

⑤共生暮らしのエリアにこそ児童館的機能が必要ではありませんか。

わくわくプレイス屋内遊びの様子

教育長

①プレイワーカー資格を持った地域おこし協力隊を中心にした地域学校協働活動であり、今後さらに多様なプログラムの提供を検討しています。

②活動時間帯をずらしたり、体験農園の収穫を活用するなど配慮します。

③子どもたちの自主性を尊重し、屋内外それぞれ工夫していきます。

町長

④キトウシ森林公園のフィールドアスレチックは老朽化などにより撤去しましたが、今年度ゆめ公園内に健康遊具4基を設置したほか、企業連携で健康づくりプログラムを充実させます。

⑤老若男女が集い、学習し楽しむ居場所として機能を検討していきます。

問 非常勤職員コロナ休業分の補填は
答 個々に対応し見込みより多い支給

質問

新型コロナ対策による学校休校や公共施設の休館で非常勤職員が減収した分の補填見込みは。

町長

個々に協議しほかの勤務に振替や勤務増などにより、69名について、休業がなかった場合の報酬見込額944万1670円に対し、49万8943円多い支給となります。

議会改革等特別委員会報告

◎経過

平成31年第3回臨時会において、議長を除く11名で構成する東川町議会改革等特別委員会を設置し、委員長に安原芳博、副委員長に薦田敏次を互選しました。

令和3年3月30日まで19回開催し、先進地の視察を実施し、東川町議会のあり方、地方議員の権能、議員定数、議員報酬等8事項について調査・研究を実施し、以下のように決めました。

◎結果

1　常任委員会

予算・決算の議案調査は、合同ではなく現行通り常任委員会ごとに行う。

2　町民の参画

①議会政策サポーター・モニター制度

意見交換会を充実させた後、検討する。

②報告会・意見交換会

おおむね2回開催を目途とし、団体との意見交換会も柔軟に対応する。

③議会への手紙

今回は意見交換のみ。

3　議会基本条例

先進地視察や委員会での審査を経て条例案を作成し、パブリックコメントを実施した後、令和2年第2回定例会に上程し議決した。

本条例に基づき必要な事項は、今後も協議し整える。

4　議会運営

①タブレット端末の導入及び議会資料の電子化

タブレット導入は、本会議など会議のペーパーレス化と合わせて実現することが効果的であるため、町のIC T化の進捗に合わせて検討する。

議会資料の電子化について、公開可能な資料は今後、民間のクラウドサーバーを活用するなどして取り組みやすいことから始める。

②夜間・休日議会

意見交換し継続審議とする。

③正副議長立候補制

正副議長の立候補制を導入する。

5　議員定数・議員報酬

①議員定数

住民が増えている状況のなか、現状で削減する要因は考えられないため現状維持とする。

②議員報酬

多様な議員の成り手を将来的に確保するための報酬の引き上げについて、さまざまな意見はあるものの意見交換のみとし、特別職報酬等審議会に判断を委ねる。

③議会報編集特別委員会

委員会に対して手当を出してはどうかということについて、意見交換のみとする。

6　議員活動の活発化

議員活動を活発化するため、能力向上を目的とした講演会・学習会を年1、2回開催する。

7　情報公開など

①インターネット公開

インターネットによる議会中継は、録画配信が望ましいが、町の施策推進と並行して実現できるよう働きかける。

会議記録（会議録を最低限修正したもの）として、インターネットで公開する。

②会議録の公開について

本会議（定例会及び臨時会）の会議録については、手続きなしで閲覧できるよう、せんとぴゅあⅡに写しを配置する。

委員会などの会議録は、従来通り議会事務局において情報公開条例の手続きによるものとし、議長が判断する。

8　意見書

議長が受理し、所管の常任委員会で結論を出す方式ではなく、従来通り、両常任委員会で検討した結果を踏まえ、議会運営委員会で決定する。

せんとぴゅあⅡ 閲覧室

産業建設常任委員会所管事務調査報告

◎調査日
令和3年1月26日

◎調査内容
しごとコンビニの取り組みについて

◎調査の意見
しごとコンビニは、業務委託型ワークシェアリング事業として令和元年より開始されました。
令和3年3月に一般社団法人を設立し、4月から法人として運営する予定です。
しごとコンビニの理念をはじめ、仕事の斡旋の仕組み、実績などの説明を受け、現在の状況が理解できました。
仕事を望む人は、雇用関係はなく個人事業主への業務委託という形態で、自分にあった仕事を選び自分の采配で働くことができます。
採算を得るためには、今後年間売り上げで最低5000万円（利益1000万円）は必要となるので、受注拡大の営業も重要になっています。
登録者は現在178名、年齢構成は10代から80代と幅広く世代間交流もできています。
スキルアップや人との出会いなど、仕事で収入を得ること以外の目的で登録する人もいることから、登録者稼働率は69％となっています。
現在、町からの業務発注量は金額の割合に換算すると45％程度で受注拡大の工夫が課題であるとともに、町内他事業者との競合性についてもこれまで同様配慮が必要です。

しごとコンビニにて

議会報編集特別委員会報告

選任された委員6名により、これまでに25回の委員会を開催し、第181号から188号まで8刊を発行しました。
町民に開かれた議会の必要性を深く感じ、議会活動を町民に知らせる上で議会報が大きな役割を果たしていることを認識しています。
今後も継続し発行します。

意見書を採択し、議長名で、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣及び各大臣・内閣官房長官へそれぞれに送付しました。

「75歳以上の医療費窓口2割負担への引き上げ」中止を求める意見書

コロナ禍での受診控えで高齢者の健康への影響が懸念される中での原則2割負担化には、批判が相次いでいます。
コロナから高齢者をはじめ国民の命と健康を守る体制の強化がなにより急がれる時に、それに逆行する窓口負担増はやめるべきです。
よってこの度の「75歳以上医療費の2割負担」の中止をされますよう強く求めます。

コメの需給改善と米価下落の歯止め策を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の「消失」でコメの過大在庫が生じ、2020年産米の市場価格は全国的大暴落し、米価のさらなる下落が危惧されています。
次の対策を要望します。
1．過剰米を国が緊急に買い入れし、過大な生産調整を回避すること。
2．ミニマムアクセス米の輸入量を大幅に削減すること。
3．過剰米を生活困窮者などへの食料支援に活用すること。

（令和３年３月８日～15日）

議　決　の　内　容	結　果
・10,128,000千円（前年度比2.86％増）とする ・237,000千円（前年度比15.1％増）とする ・429,000千円（前年度比1.56％減）とする	原案可決 〃 〃
・23,695千円を増額し、総額11,626,419千円とする ・11,781千円を増額し、総額226,133千円とする ・9,000千円を減額し、総額433,729千円とする	原案可決 〃 〃
・公職選挙法の改正に伴い、ビラ頒布等の解禁、選挙公営の対象拡大に伴う措置として供託金制度を導入すること等の改正 ・人事院勧告に基づく期末手当及び勤勉手当支給率の改正に伴う条例の改正 ・人事院勧告に基づく期末手当支給率の改正に伴う条例の改正 ・　〃 ・「日本の将来を担う人材を育成する小西健二奨学金」、「技術者を育成するものづくり技術者育成奨学金」を規定する等の改正 ・コンビニ収納、キャッシュレス決済を実施予定であることに伴い、固定資産税の納期を変更する改正 ・道路法等の改正に伴い、交通安全施設に自動運行補助施設の追加、歩行者利便増進道路の基準の追加をする改正 ・リニューアルオープンした東川町文化ギャラリーの入館料及び使用料について改正	原案可決 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
・善行表彰２名３法人（中島　拓氏、佐藤　茂氏、株式会社アクトギア、株式会社フジキカイ、大栄不動産株式会社）、自治功労表彰１名（長原　淳氏）、一般功労表彰２名３団体（山下一雄氏、江添好松氏、東川町文化連盟協議会、北海道東川ラトビア交流協会、東川町韓国交流協会）職員表彰４名（千田浩一朗氏、野澤秀夫氏、中村弘美氏、林　直美氏） ・長原淳氏の退職に伴う平田章洋氏の選任 任期満了による市川直樹氏の選任（再任）	原案同意 〃
・ヨーロッパ家具デザインアーカイブス構築用備品（織田コレクション）の取得 ・辺地地区における事業計画内容の変更を行う１次変更	原案可決 〃
・安原芳博議員より、意見書について趣旨説明 ・薦田敏次議員より、意見書について趣旨説明	原案可決 〃
・変更となった総務文教常任委員長を指名推薦 藤倉総務文教常任委員長が当選 ・　〃 ・　〃 ・　〃	選　挙 〃 〃 〃
・議会報編集特別委員長より、活動経過について報告 ・産業建設常任委員会委員長より、調査活動の結果について報告	報告済 〃
・東川町議会改革等特別委員会委員長より、審査結果について報告	報告済
・各常任委員を議長が指名する ・議会運営委員を議長が指名する ・特別委員会を設置し、委員を議長が指名する ・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出	選　任 〃 設置選任 原案可決

（令和３年２月 12 日）

議　決　の　内　容	結　果
・23,410千円を増額し、総額11,602,724千円とする	原案可決

（令和３年３月 26 日）

議　決　の　内　容	結　果
・968,699千円を増額し、総額12,595,118千円とする	原案可決

（令和３年４月９日）

議　決　の　内　容	結　果
・419,526千円を増額し、総額10,547,526千円とする	原案可決
・14,000千円を増額し、総額12,609,118千円とする	承　認

区　分	開　催　日	議　件　名
第３回全員協議会	令和３年３月26日	１）「適疎ワーキング」による企業等との関係人口創出・拡大事業について ２）新時代に飛躍する新・大雪圏域観光振興プロジェクト事業について ３）地方創生テレワーク東川オフィス環境整備事業について ４）地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）による大学進学奨学金（コロナ経済対策加算）について ５）隈研吾＆東川町ＫＡＧＵデザインコンペについて ６）松田与一記念館整備事業について ７）椅子の日制定記念イベントの開催について ８）その他
第４回全員協議会	令和３年４月８日	１）「適疎ワーキング」による企業等との関係人口創出・拡大事業について ２）地方創生テレワーク東川オフィス環境整備事業について ３）大雪圏域観光振興プロジェクト事業について ４）新型コロナウイルス感染症対策事業について ５）新型コロナワクチン接種について ６）全世代共生暮らしのエリア事業について ７）寄付金について ８）調停について ９）その他

第１回定例会の議案審議結果

区　分	議　件　名
当初予算	・令和３年度　東川町一般会計予算について ・令和３年度　東川町公共下水道事業特別会計予算について ・令和３年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計予算について
補正予算	・令和２年度　東川町一般会計補正予算（第10号）についてて ・令和２年度　東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第３号）について ・令和２年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第４号）について
条　例	・東川町議会議員及び東川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・特別職の職員で常勤のものの給料及び旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町基金条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町税条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町文化ギャラリーの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
人事案件	・被表彰者の推薦について ・副町長の選任について
その他案件	・財産の取得について（織田コレクション） ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
意見書	・「75歳以上の医療費窓口２割負担への引き上げ」中止を求める意見書について ・米の需給改善と米価下落の歯止め策を求める意見書について
選　挙	・大雪消防組合議会議員の選挙について ・大雪清掃組合議会議員の選挙について ・大雪葬斎組合議会議員の選挙について ・大雪地区広域連合議会議員の選挙について
調査報告	・議会報編集特別委員会の活動経過報告について ・しごとコンビニの取り組みについて
審査報告	・東川町議会のあり方、地方議会の権能、議員定数、議員報酬等についての調査、研究に関する報告について
その他	・常任委員会委員の選任について ・議会運営委員会委員の選任について ・議会報編集特別委員会の設置及び委員の選任について ・閉会中の所管事務等調査の申し出

第１回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和２年度　東川町一般会計補正予算（第９号）について

第２回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和２年度　東川町一般会計補正予算（第11号）について

第３回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和３年度　東川町一般会計補正予算（第１号）について
その他	・専決処分の承認を求めることについて（令和２年度東川町一般会計補正予算第12号）

全員協議会の開催状況

区　分	開　催　日	議　件　名
第１回全員協議会	令和３年２月１日	１）町村議会選挙及び町村長選挙における選挙公営の拡大について ２）東川町基金条例の改正について ３）織田コレクションの最終購入について ４）令和３年度地方創生推進交付金交付申請状況について ５）「キトウシ保養施設基本計画案」について ６）農業振興区域の見直しについて ７）「全世代共生暮らしのエリア整備検討事業基本計画案」について ８）サラリーマン世帯収入減少等支援給付事業について ９）新型コロナウイルスワクチン予防接種について 10）その他
第２回全員協議会	令和３年３月１日	１）令和３年度予算の概要について ２）令和３年度大雪地区広域連合予算の概要について ３）東川町教育大綱（案）について ４）町村議会選挙及び町村長選挙における選挙公営の拡大について ５）その他

議会日誌

2月

1日　第1回全員協議会
9日　上川町村議会議長会定期総会(旭川市)
12日　令和3年東川町議会第1回臨時会
　　第19回議会改革等特別委員会
17日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
25日　第1回議会運営委員会

椅子の日記念セレモニー
(隈研吾氏トークショー)

3月

1日　第2回全員協議会
　　定例会前各常任委員会
5日　第2回議会運営委員会
8日　令和3年東川町議会第1回定例会(1日目)
9～11日　令和3年度予算等議案調査
15日　令和3年東川町議会第1回定例会(2日目)
23日　一部事務組合・大雪地区広域連合定例会(美瑛町)
24日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)
26日　令和3年東川町議会第2回臨時会
　　第3回全員協議会
30日　写真の町東川賞授賞式及びテープカット

「椅子の日」記念セレモニー
隈研吾氏とデザインの椅子製作者

4月

8日　第4回全員協議会
　　議会報編集特別委員会(1回目)
9日　令和3年東川町議会第3回臨時会
14日　「椅子の日」記念セレモニー
15日　議会報編集特別委員会(2回目)
21日　議会報編集特別委員会(3回目)
22日　例月公金出納検査(東川町・大雪地区広域連合)

東川ミーツせんとぴゅあⅡ店

議会報の編集は、私たちが今後2年間担当します。
議会活動や議会報について、ご意見ご要望をお寄せください。

議会報編集特別委員会

委員長　能登　暢吉
副委員長　鈴木　哉美
委員　畑中　雅晴
　　飯塚　達央
　　山家　祥幸
　　杉本　岳大